

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる（自校テストで平均正答率80%以上にする）。
 - ・たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる（自校テストで平均正答率80%以上にする）。
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・算数の自校テストで「思考力・判断力・表現力」に関する平均正答率を80%以上にする。
- 主体的に取り組む態度を涵養する。
 - ・自校で国語、算数に対するの関心・意欲・態度についてのアンケートをとり、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

具体的な手立て

- ①漢字ドリルや計算ドリル、ドリルパーク等のICT教材を計画的に使用するとともに、家庭学習を充実し、児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ②児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。
- ③授業のユニバーサルデザイン化を図り、すべての児童が「わかる、できる喜び」を味わえるようにする。
- ④ICT機器を効果的に活用し、児童の思考を可視化して表現したり、考えを伝え合う活動や話し合い活動をしたりするなど、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
- ⑤振り返りの活動を重視し、児童に自己評価させることで、自分の学びを振り返らせ、学習改善につなげさせたり、学習意欲を高めさせたりする。

結果

- ・どの学年も当該学年で習得すべき漢字の読み書き、たし算、ひき算、かけ算、わり算の計算について、自校テストで平均正答率80%以上を達成することができた。
- ・どの学年も算数の自校テストで「思考力・判断力・表現力」に関する平均正答率80%以上を達成することができた。
- ・教科への関心・意欲・態度については、国語においては肯定的な回答の割合が80%以上の学年は3つの学年、算数においては3つの学年で達成できたが、全体としては80%を上回ることができなかった。

今年度の振り返り・次年度に向けて

知識・技能、思考力・判断力・表現力等の成果指標を達成することができた。主体的に学習に取り組む態度については、全校の約半数の学年で成果指標を達成することができた。

次年度は、主体的に学習に取り組む態度をさらに高めるために、題材との出会わせ方を工夫し、学習の必要感をもたせたり、タブレットの活用、協働的な学習を推進したりしていく。また、国語への関心・意欲・態度が低めの学年があるので、読書活動の推進、書く活動の楽しさを味わうことができるような授業の工夫・改善を図っていく。